

研究紀要第35号

期にふさわしい生活

—いろいろな人とのかかわりの中で

響きあって生活する子どもを求めて—

2002

島根大学教育学部附属幼稚園

期にふさわしい生活

—いろいろな人々とのかかわりの中で響きあって生活する姿を求めて—



はじめに

21世紀は、人類の共存共生の実現に向けて前進するものと期待されて幕を開いた。ところが、現実はその逆となって現れている。今まで、やや後ろめたさをもって語られていた強者の打算や論理があからさまに声高に主張されるようになった。大競争時代とも形容される今日の競争主義社会において、他人、他国に負けない資質能力を育てることが強調され過ぎてはいないか。人間は社会的な存在であると言われている。21世紀を生きる人間にとって最も必要とされるのは、他者認識・理解能力、他者への共感能力であろう。このような能力の下地として、幼児期に他者への強い関心や愛着心や信頼感が育っていなければならない。また、他者喪失や共同性喪失が問題視される現状において、人的・自然・物的環境を媒介として、多様な他者との関わりや共同化、他者との相互作用によって、一人ひとりの個性が他者のそれと響きあって共に育ち合うような保育の構想が求められる。

本園では、平成12年度から、副主題を『いろいろな人とのかかわりの中で響きあって生活する子どもを求めて』とし、副主題に迫るためにはどのような環境の構成や援助が必要なのかを追及している。本年度は、3つの視点「子ども・保護者・保育者が共に響きあうための生活環境づくり」、「自ら体験し、心を動かしながら遊び込むための生活環境づくり」、「異年齢とのかかわりの中で育ちあうための生活環境づくり」から実践研究に取り組んできた。

さて、学部と附属の研究協力の必要性は、教員養成系の全国国立大学・学部と附属学校園に対して求められてきた古くて新しい課題である。本園では、一部の学部教官との個人レベルでの共同研究は行われており成果も示されている。しかし、大部分は、研究会での指導・助言にとどまっており、日常的、組織的に共同研究は行われてこなかったというのが実態である。様々な指摘を受け止め、今年度、教育学部教官との共同による「幼稚園教育研究プロジェクト」を立ち上げた。いろいろな人とのかかわりの中で響きあって横断的に研究を深めるという観点から、様々な専門分野の学部教官8名と附属小学校教諭1名の参加を得て発足させた。発足が平成14年5月末と遅くなったことにより、上記の研究テーマの設定などには参画してもらえなかった。その点では、今年度の研究プロジェクトは、研究体制の基礎づくりともいえる。

本報告書は、プロジェクト発足後の10ヶ月間という限られた期間で進められた研究の内容と歩みを報告するものである。研究プロジェクトとしては、はなはだ未熟なものではあったが、よりいっそうの大学学部教官との連携による研究体制を確立し、近い将来に、学部教官・附属学校・幼稚園三者による共同研究を推進していくことを目指したいと考えている。研究内容や研究プロジェクトの在り方などについて忌憚のないご意見やご批判を賜りますようお願いいたします。

目 次

期にふさわしい生活

—いろいろな人とのかかわりの中で響きあって生活する子どもを求めて—

はじめに

I 研究主題について	1
II 平成14年度の研究の取り組みの概要	
1. 基本的な保育の姿勢	2
2. 本園の子どもの最近の発達の傾向と家庭を取りまく環境の実態	2
3. 副主題「いろいろな人とのかかわりの中で響きあって生活する子どもを求めて」	3
4. 研究の課題	3
5. 研究のねらい	4
6. 研究の仮説	4
7. 追究の視点	5
III 平成14年度の「幼稚園教育研究プロジェクト」研修会の内容	
1. 年間の研修スケジュールとその内容	6
2. 研修会での協議内容	7
IV 研究の視点からの実践報告	
実践報告1 子ども・保育者・保護者が共に響きあうための生活環境づくり	13
実践報告2 自ら体験し、心を動かしながら遊び込むための生活環境づくり	27
実践報告3 異年齢とのかかわりの中で育ちあうための生活環境づくり	41
研究の成果	52
V 今後の研究の展望と課題	
1. 「幼稚園教育プロジェクト」同人からの提言	59
2. 今後の研究の課題	69
VI 教育課程別冊	

実践報告



次に記す保育実践の記録および考察の文中、幼児・保護者名は全て仮名である

V 今後の研究の展望と課題

1. 「幼稚園教育プロジェクト」同人からの提言
2. 今後の研究の課題

— 研 究 同 人 —

島根大学教育学部附属幼稚園

園 長 林 隆 一
副 園 長 周 藤 友 幸
教 諭 野 津 道 代
星 野 和 美
梶 原 泉
石 橋 かおり
伊 藤 真理子
養護教諭 石 川 世津子
講 師 岡 崎 由美子
山 崎 陽 子

島根大学教育学部

猪 野 郁 子 (家政教育)
大 谷 修 司 (理科教育)
秦 明 徳 (理科教育)
小 川 巖 (障害児教育)
川 路 澄 人 (美術教育)
河 添 達 也 (音楽教育)
田 中 昭 夫 (幼児教育)
西 田 忠 男 (幼児教育)
高 橋 泰 道 (附属小学校)